



すぎの木通信

2021年2月26日(金) No. 139

発行：特定非営利活動法人しさわ
就労継続支援B型 ワークプラザすぎの木
宍粟すぎの木家族会

☎ 0790-65-0170 FAX 65-0177

〒671-2506 宍粟市山崎町宇野 319 番地

連載 心の病 (5) 最終回



「70, 723」

宍粟すぎの木家族会会長 (NPO法人しさわ 副理事長) 上垣 迪雄

この数字は何でしょうか。これは、第2次世界大戦の前から戦中にかけて殺された精神障害者の数です。誰が殺したのか。犯人はナチスドイツです。

ナチスドイツは、390万人ものユダヤ人やポーランド国民、ジプシーなど多くの人間を殺しています。虐殺です。ゲーテやヘッセ、ベートーベン、シューマンなどを生んだ国の国民のしたこととは思えない。芸術は人間性を豊かにするなどと言われていますが、都合のいい言い分かも知れません。

ドイツほどではないにしても、我が国でも多くの人がいわれなき差別に苦しんできました。

病気をとってみても、「肺病すじ」「らい病すじ」「気ちがすじ」…幸い肺病(結核)らい病(ハンセン病)は長い間かかって、やっと治療法が確立しました。

長い間かかってです。

肺病の原因である結核菌は、1882年 ロベルト・コッホにより発見されました。結核に効く薬の開発はそれより半世紀を要しています。それも、偶然見つかったペニシリンから、ストレプトマイシン、カナマイシン等々多くの抗生物質が作られるようになり、そこから結核によく効く薬が開発されました。

ハンセン病も、1873年にハンセンにより病原菌が発見されています。感染力の弱い菌だそうですが、多くの患者が隔離され健康な人との接触が絶たれました。患者が、見送る家族が、泣きながらハンセン病患者収容所へ連れて行かれたということ、私の小さい時に聞きました。現在ハンセン病は飲み薬によって完治(完全に治る)できるようになりました。

でも、世界では、まだまだ、結核やハンセン病で困っている国々や地域があります。

心の病はどうでしょうか。残念ながら、今のところ特效薬はないようです。ただ、統合失調症患者でも治っておられる方はあります。

もう、このあたりで「統合失調症」についての紹介は終わりにします。

今、多くの医学者が研究をされています。そのうちにすばらしい治療法が生み出されることと思います。長い間、読みづらい文をお読みいただきありがとうございました。

◆2020年度(令和2年度)賛助会員紹介(順不同 敬称略) ありがとうございました。

高井桂子(宍粟市)・朱山タカ子(宍粟市)・中田耕一郎(宍粟市)・山本ひろみ(宍粟市)・北川博康(宍粟市)・島本久子(宍粟市)・上垣悦子(宍粟市)・春井千春(佐用町)・栗山堅太郎(宍粟市)・徳田義彦(宍粟市)・山根敏子(神戸市)・岡本賢尚(京都府)・岸本二六(宍粟市)



20周年記念誌

「すぎの木工房」から「ワークプラザすぎの木」へ

「あゆみ20年」が完成！

「就労継続支援B型ワークプラザすぎの木」の前身「共同作業所すぎの木工房」が誕生したのは、平成11年（1999年）7月1日。現在の宍粟市役所北庁舎の駐車場北側の揖保川河川敷付近にあった南光様の旧家をお借りして、通所者8名でスタートしました。作業所の運営は当初、「宍粟すぎの木家族会」（心の病や精神障がいがある方の家族会）とそれを応援して下さるボランティアのみなさんでした。その後、関係者の熱意により平成16年8月20日に特定非営利活動法人しさわとしてNPO法人を設立し、現在のワークプラザすぎの木を運営しています。令和元年7月に20周年を迎え、昨年9月2日に関係者で「20周年記念誌編集発行委員会」を結成し編集作業を重ね発行の運びとなりました。発行部数は200部です。すでに関係の皆様へは配布しています。なお、記念誌はホームページ(<http://shisawa.jp>)に公開しています。

当所の「木工品」や「お餅」「あげおかき」はいかがですか？



梅の花に似合う木工品のおひなさま（縦5cm×横15cm×高さ8cm）1500円(税込)



さらに美味しくなったと好評の「あげおかき」チャック付き袋
90g 270円(税込)

新型コロナウイルスの影響でイベントの中止や自粛もあり、販売会が出来ません。また、お餅は市内各神社のお祭りの規模縮小や中止で、投げ餅などの注文が減りました。当所の経営も苦しい中、利用者の方々と一緒になり木工品やあげおかきを作っています。ぜひ、ご購入下さい。写真のおひなさまは、お電話をいただければ製作いたします。（電話 65-0170）

編集後記： 昨今の今頃には問題になりはじめた新型コロナウイルス感染症の拡大。あれから1年。ワクチンの接種が始まり、大まかですが接種日程も公表されはじめました。これで集団免疫が出来るのかどうか。◇それにしても東京オリンピック・パラリンピックはどうなるのでしょうか。NHKの今年1月の世論調査では、開催すべき16%。中止すべき38%。さらに延期すべき39%でした。中止と延期を合わせると77%です。現時点での医療施設の逼迫状況や緊急事態宣言が解除されていない状況の中、どうすべきか。◇当所も感染予防に最大限の努力をしています。おかげさまで宍粟市や兵庫県から交付金や工賃支援金をいただきました。(M)